

福島町立診療所(仮称)の開設に向けて

1 医師確保に向けた取り組み

平成28年6月に、深浦先生が健康上の問題で医院を閉院するとの意向を表明されたことを受け、町では町内の医師や函館の総合病院、北海道庁との協議のほか、千葉県の医療法人社団明生会など、可能な限りのネットワークを通じて、医師確保を目指してきました。

一方、深浦先生自らも医療関係のコンサルティング会社を通じて医業継承募集を行っていたところ、昨年4月に釧路市内の医師が医業継承の名乗りを上げ、深浦先生と昨年6月開業に向けた協議をしました。

看板の設置等も行われましたが、開業直前になって本人から辞退する旨の連絡があり、残念ながら医業継承とはなりませんでした。



(旧深浦内科医院)

2 町立診療所の開設の方針

町として福島地区の医療体制確保は必要と考えており、引き続き医師確保の取り組みを続けてきたところではありますが、その過程において“開業医を求めるよりも、町立診療所を設置の方が医師確保の優位性が高まる”との確信を得て、町立診療所開設の方針を固めたところです。

3 医師内定の経緯

このような中、昨年11月に木古内町の光銭医師から鳴海町長に対して「医師が不足している地域での医療に貢献したい思いを抱いており、福島町の医療のお手伝いをしたい。」旨のお話を頂き、町立診療所の開業に向けた協議を続け、町長と医師の思いが一致したことから、2月上旬の内定に至ったところです。

<光銭医師の経歴等をご紹介します>

- 氏名 光銭健三氏(61歳)～函館市出身
- 診療科目 内科・消化器科・小児科
- 履歴 昭和56年 昭和大学医学部(東京都)卒業
昭和56年～昭和大学藤が丘病院(神奈川県)内科・消化器内科勤務
平成4年～木古内町で光銭医院を開業(二代目)
- 資格 医学博士、日本内科学会認定医、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医
日本消化器病学会認定医、日本ヘリコバクター学会 H.pylori(ピロリ菌)感染症認定医
日本医師会認定産業医、介護支援専門員、認知症サポート医
- その他 渡島医師会副会長

開設は平成30年6月を目標に!



平成29年4月に閉院した旧深浦病院の土地と建物は、6月に深浦先生より町に寄付を頂きましたが、建物の建築が行われたのが平成元年のため、一部設備の老朽化が進んでおり、給配水設備や暖房設備等の改修が必要となっております。今後、6月に着任予定の光銭医師の意見を参考に、施設改修と医療機器の更新等を行っていく予定です。

また、光銭医師からは、本人が所有する医療機器の活用も視野に入れている旨のお話を頂いております。3月下旬には、看護師等、医療スタッフの募集を予定しているところです。